



**WG05**  
**動態管理プラットフォーム(traevo)を活用した持続可能な物流の実現**  
**-TDBC Forum 2026-**

## 動態管理プラットフォーム(traevo)を活用した持続可能な物流の実現

全体リーダー:(株)首都圏物流 駒形 友章

### 【WG05A】共同輸送ユニバーサルシステム

実車率  
向上

### 「traevo noWa」活用分科会

リーダー:AGC(株) 高橋 雄太氏

### 【WG05B】動態管理プラットフォームを活用した 積載効率の改善とカーボンニュートラルの実現

積載効率  
向上の可視化

リーダー:(株)アスア 間地 寛氏

### 【WG05C】持続可能な農業を実現するための青果物流の課題解決

積載率  
向上

リーダー:イーサポートリンク(株) 石井 崇博氏



# WG05C 動態管理プラットフォーム (traevo platform) の社会実装と活用

## TDBC Forum2026

# WG05Cメンバー（順不同）



## 事業者会員 3社（+2団体）

株式会社アルプスウェイ  
株式会社首都圏物流  
千曲運輸株式会社  
（団体）  
青果物物流DX推進協議会  
東海大学

## サポート会員 12社

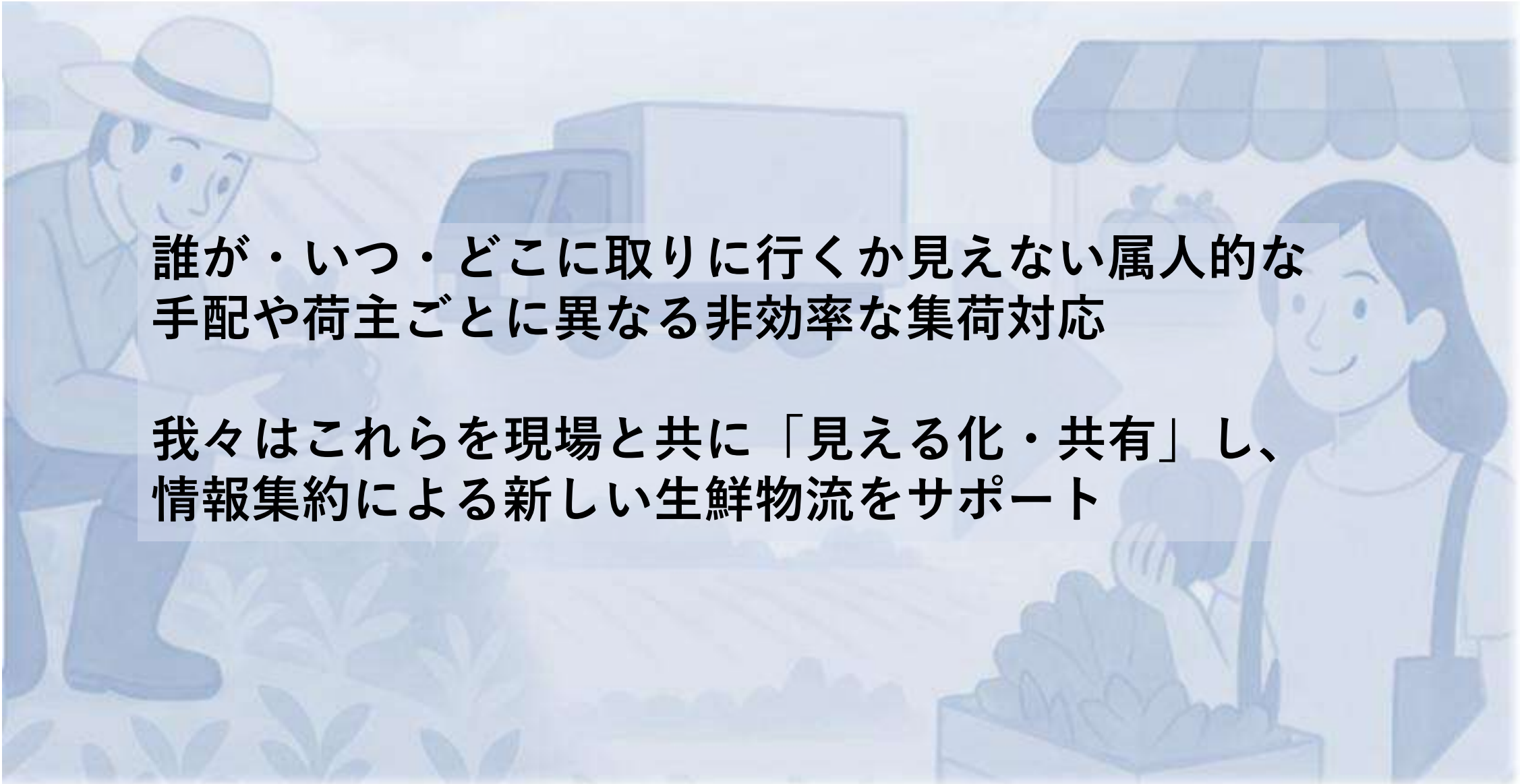
イーサポートリンク株式会社  
N S W株式会社  
JFE商事エレクトロニクス株式会社  
株式会社商工組合中央金庫  
都築電気株式会社  
株式会社デンソー  
株式会社デンソーソリューション  
パーソナル情報システム株式会社  
フィン・バイ・テック コンサルティ  
ング  
物流企画サポート株式会社  
LocationMind株式会社  
株式会社LOKIAR

## パートナーシップ会員 1社

株式会社バローホールディングス



## 青果物流を軸に生鮮流通の課題を解決し、 持続可能な農業と消費者への安定供給を実現する



誰が・いつ・どこに取りに行くか見えない属人的な  
手配や荷主ごとに異なる非効率な集荷対応

我々はこれらを現場と共に「見える化・共有」し、  
情報集約による新しい生鮮物流をサポート

各社のソリューション紹介を通じ、生鮮流通における顧客課題を共有・議論。

| 開催回 | 企業名             | ソリューション     | 主な特徴・活用事例                           |
|-----|-----------------|-------------|-------------------------------------|
| 第1回 | LocationMind(株) | データ処理       | 積載率×位置情報で到着予測・最適ルート提示 / 複数拠点最適化     |
| 第1回 | (株)デンソー         | モバイル冷凍機     | 1.2kgの軽量設計、20分で-20℃到達 / 他温度帯商品の共同配送 |
| 第2回 | NSW(株)          | 温度管理・物体検知   | クラウド管理（温度・衝撃・位置）、光ビーム障害物検知          |
| 第3回 | 都築電気(株)         | 運行管理・現場支援   | 延早配の予実可視化、運転日報自動作成 / 配車作業の効率化       |
| 第4回 | (株)クールイノベーション   | 冷蔵ユニット・電場技術 | 0.1℃・湿度1%単位の精密管理 / 生鮮品の長期保存         |

## 協議の結果

WGでの議論を通じ、生鮮流通の構造的な課題が浮き彫りになった



## 連携を阻む3つの壁

物理的・構造的な制約

デジタル化・情報の壁

商慣習・品質・ルールの壁



発荷主、物流企業、着荷主、それぞれの間に存在する  
ブラックボックスが、連携を根本から妨げている



## 物流会社の悩み

- ☑配車業務が経験に依存
- ☑協力会社の対応可能エリアが不明

## 荷主の悩み

- ☑物流会社の集荷可能エリアが不明
- ☑商談が決まっても「運べない」事態に

## 青果物流を軸に生鮮流通の課題を解決し、 持続可能な農業と消費者への安定供給を実現する

誰が・いつ・どこに取りに行くか見えない属人的な手配や非効率な集荷対応を、現場と共に「見える化・共有」し、情報集約による新しい生鮮物流をサポート。



### 1. 可視化

誰が・いつ・どこで集荷・納品するかを地図上で可視化。



### 2. 共有

発着荷主・物流企業・協力会社が、全く同じ情報をリアルタイムで参照。



### 3. 連携

商流と物流をシームレスにつなぐ共通基盤の構築。個社最適から全体最適へ、共同輸送の検討や物流網の見直し。



政策や他業界との対話を通じ、  
効率化における可視化ニーズを確認



① 農林水産省 訪問  
国の政策方針（市場のハブ化）と  
システム展開の親和性を確認。



② 全国花き物流協議会との意見交換  
生鮮業界と花き業界における共通課題  
や活動内容について議論。





## 実施内容・目的

- ・卸売市場における物流情報可視化の重要性および市場物流の効率化に向けたニーズについて意見交換を実施



## 卸売市場における課題

- ・情報連携の欠如（到着まで積み荷が不明）
- ・紙書類や電話連絡に依存するアナログ作業の常態化
- ・産地・市場間での情報分断



## 政策方針との親和性・整合性

- ・「市場を物流中継拠点として活用する（市場のハブ化）」方針に合致
- ・市場ハブ化を進める上で、**情報・ルートの視覚化は不可欠な前提条件**
- ・国の物流効率化施策との極めて高い親和性を評価



## 実施内容・目的

- ・商工組合中央金庫様・TDBCの紹介により、花き業界で物流改革に取り組まれている全国花き物流協議会と意見交換を実施
- ・花き業界における物流改革の取組について意見交換

## 業界共通の課題

- ・ドライバー不足による輸送力低下
- ・業界内の情報連携不足
- ・共同輸送・中継輸送を実現するための共通ルールや運用基準が未整備

## 今後の展望

- ・物流情報の可視化・共有に関する継続対話
- ・共同輸送実現に向けた取り組み事例を継続的に情報交換

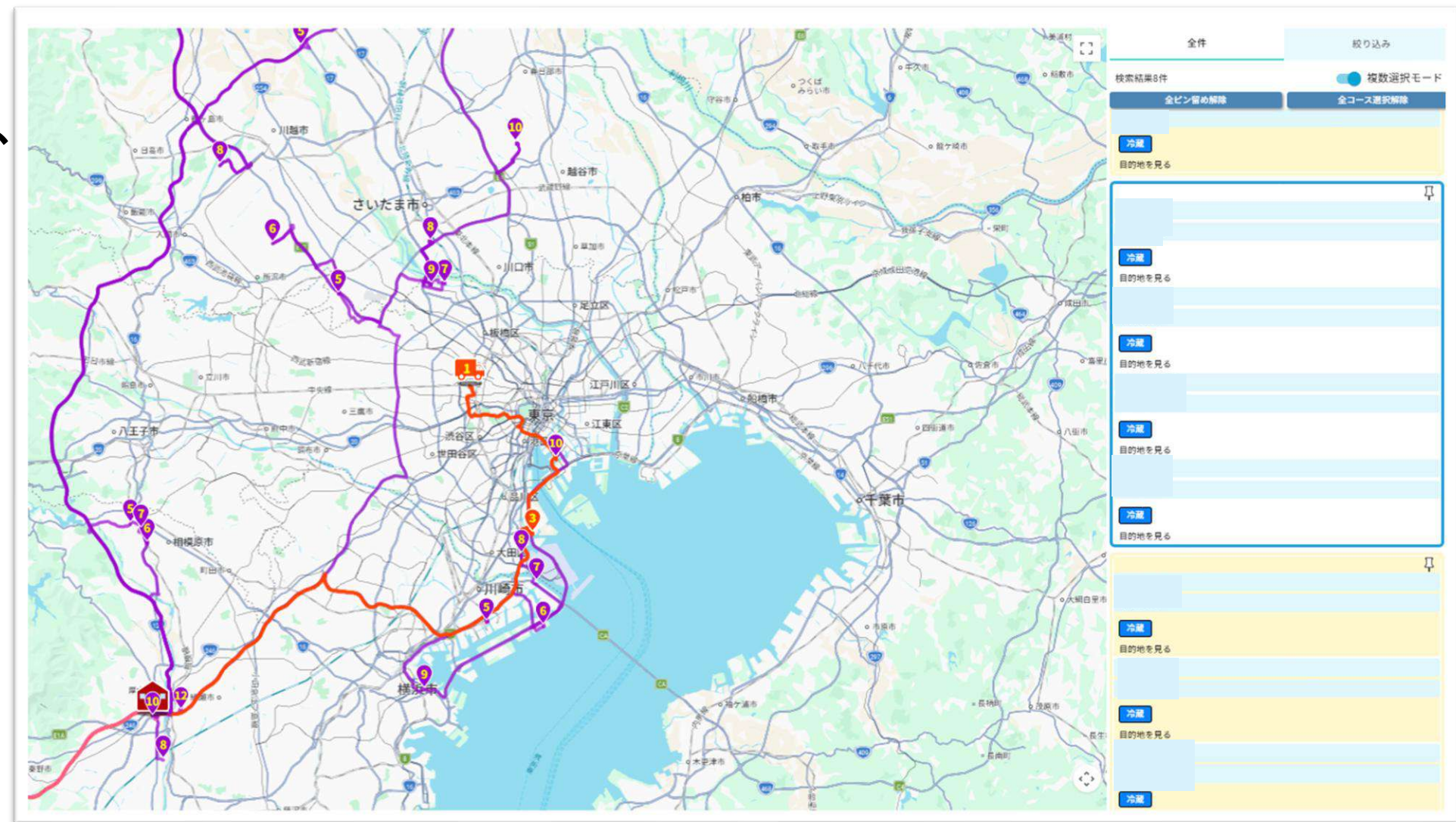


# 解決へのアプローチ

## ○物流情報視覚化システム

→イーサポートリンク株式会社が開発した物流情報を一元化するシステム

- ・「情報の壁」を打ち破る具体的な武器として、  
動態管理プラットフォーム「traevo」の  
データを活用した視覚化システムを開発
- ・企業間を越えて集荷・配送拠点を  
一つの画面に統合





# 解決へのアプローチ

## ○物流情報視覚化システムから分かる情報

- ・ 複数物流会社の横断表示  
自社だけでなく、協力会社を含めた  
物流網を地図上に一括表示
- ・ 検索  
温度帯、出発時間、集荷・配送拠点での  
絞り込み





## 「見える化」の先へ。実証実験参加企業の募集

重複ルート見直しによる積載率向上、営業所間・協力企業間での共同配送の実現に向けて



物流情報の可視化やルート比較、共同配送の検討がしたい物流企業・荷主を絶賛募集中！



# 持続可能な運輸業界を目指し次なるステージへ



一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

<https://tdbc.or.jp/>

[unyu.co@wingarc.com](mailto:unyu.co@wingarc.com)

03-5962-7370

X(旧Twitter)公式 @TDBCJP

協議会スポンサー

